



上尾市立大谷中学校だより

えごの木

令和7年12月号(臨時)

〒362-0045 上尾市向山 4-10

TEL (048) 781-9080

<https://www.city.ageo.lg.jp/>

site/oya-juniorhighschool/

発行責任者 校長 山田 正浩



学校教育目標

明るく、夢を持ち、たくましく生きる生徒

ルール

校長 山田 正浩

今年も秋が短かったような気がします。朝夕は大変寒くなってきました。インフルエンザも例年より早く流行しています。教室の換気には十分気を付けてください。

しかし教室の喚起を行うとももちろん室温は下がります。暖房をつけてもなかなか自宅のように快適な温度まで上がるには時間がかかります。皆さんは服装を重ね着するなどして対応してくれているかと思います。

さて、私が先日、朝見回っていたところ、教室の床に使い捨てカイロが落ちていました。

使い捨てカイロはアメリカ陸軍が使用していたフットウォーマーを参考に、旭化成工業の山下巖氏と飛高幹生氏が1975年に「アッタカサン」として開発しました。その後、1978年にロッテ電子工業が「ホカロン」として全国販売を開始しました。昨年度の販売実績は17億7652万枚だったそうです。過去寒かった年度では20億枚を超えています。

大変、安価で手軽、便利なものとして発明され、皆さんに身近なものとして存在している使い捨てカイロですが、使った後の処理方法は知っているでしょうか。

これは各自治体で処理の方法が違いますが、上尾市では完全に使い切って冷ました後、可燃ごみとして出して良いそうです。ちなみに私の住んでいる桶川市では月に1回、「その他のごみ」として処理しています。

学校では、なるべく自分で出したごみは自分で持ち帰ってもらうようにしています。ペットボトルは学校でその持ち込みを禁止しております。それは簡単にその場に置いて捨てられてしまうからです。

使い捨てカイロについては、学校で快適な温度を保証できないため持ち込みを許可しております。ただし、使用済み使い捨てカイロは必ず自宅へ持ち帰るようにお願いします。このまま学校の至る所で使い捨てカイロが捨てられてしまうことになると持ち込みを禁止にしなければなりません。ルールはここにいる全員が安全に快適に過ごすためにあります。ルールの遵守をお願いします。

<近隣住民の皆様へ>

学校教育活動に対し、日頃より御理解・御協力の程、誠にありがとうございます。秋が深まり、冬の到来に際しまして、必ず御迷惑をおかけするのが、「落ち葉」でございます。夏には強い日光を遮り、自然の「涼」を提供してくれる木々ですが、その役目を終えました。先日、落ち葉を清掃してくださる方にお会いすることができまして、お声をかけさせていただいたところ、笑顔のお返事をいただきました。本校でも校務員が対処しておりますが、なかなか対応が追いつきません。今後何卒、御理解・御協力の程、宜しく願いいたします。